

みんなの健康ラジオ

『神経内分泌腫瘍(NET)に対する、
RI内容療法(受容体標的放射線治療)
について(1)』

(2025年3月13日放送)

横浜市立大学付属病院

臨床腫瘍科

市川 靖史

神経内分泌腫瘍とは

- 神経内分泌腫瘍は、英語でNeuroendocrine Tumorと呼ばれ、その頭文字を取ってNETと略されます。
- NETはがんの一つです

がんの中のNET（１）

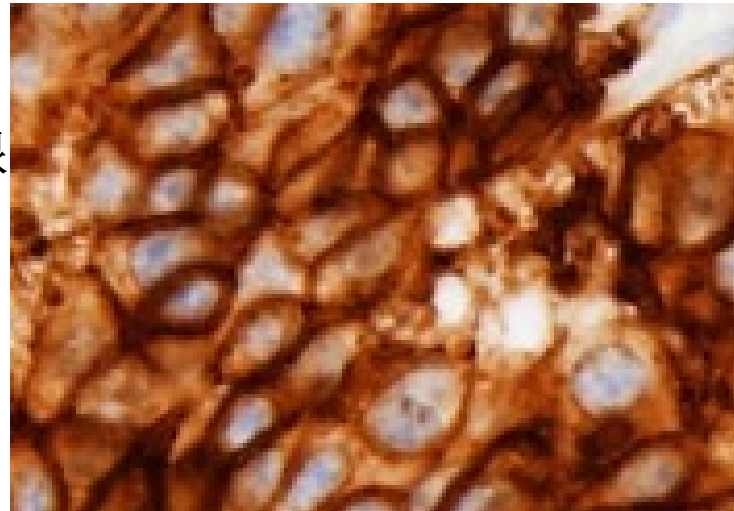
- 「がん」とひとくくりにされますが、さらに分類されます。
 - 発生する臓器による分類
 - 脳腫瘍、食道癌、乳癌、骨肉腫、白血病、腎臓癌・・・
 - 顕微鏡を使った細胞の形の上での分類 ここにNETがありました
 - 腺癌、扁平上皮癌、平滑筋肉腫・・・NET・・・
 - これらを合わせて ここもNETがありました
 - 胃の腺癌、食道の扁平上皮癌、膵臓のNET・・・のように使います。
- 例えば大腸癌の90%以上が大腸腺癌なので、大腸癌の場合、わざわざ大腸腺癌と言わなくても、大腸癌というだけで、みんな大腸腺癌のことだと思うわけです。胃癌、膵臓癌・・・でも一緒です。

がんの中のNET（２）

- 癌といえばたいていは**腺癌**なのですが、それに紛れて、ごくまれに**NET**のことがあります。
- **NET**は全がんのほんの数％にしか起こらないので、**稀少癌**と呼ばれます。
- 「がん」はがんでよいのになぜ分類などするのでしょうか。
- それは**治療法が全く違うことがある**からです。
- **NET**は**稀**なだけに見過ごされることもあり、そうなりと見当違いの治療がされてしまったりと大変です。

NETの特徴

- NETには細胞表面にソマトスタチン受容体がたくさんあります。
- ソマトスタチン受容体は普通の腺癌の細胞表面にはほとんど存在しません。
- NETではこの特殊な受容体を標的として受容体標的放射線治療が効果を発揮します。
- 以下次回にこうご期待



NETの細胞膜ソマトスタチン受容体が褐色に強く染まっている